

第6回

高校の授業で UD まちづくり講座をやってみよう

(1) プログラム

日 時 | 11月1日(水) 11:30 ~ 14:15

会 場 | 深川高校3階 体育館

内 容 | 高校の授業で UD まちづくり講座をやってみよう！

・前回のアイデアを基に、深川高校1年生の授業で実施するプログラムを検討しました。

タイムテーブル |

11:30 (15分) 高校の玄関で受付開始、時間になったら体育館に移動

※体育館の外では、飲食可能

11:45 (45分) 体育館でグループ毎に準備やリハーサルをスタート

12:30 (15分) スタッフ全体で一度時間などの確認後、またグループ毎に準備

高校生1年生8クラスが移動

(すでに5グループに分かれており、各グループに60人が集まる)

12:45 (10分) **UD まちづくり講座スタート**、あいさつ、進め方の説明

12:55 (35分) **5グループに分かれて運営<その1>**

13:30 (05分) ~トイレ休憩、グループ移動~

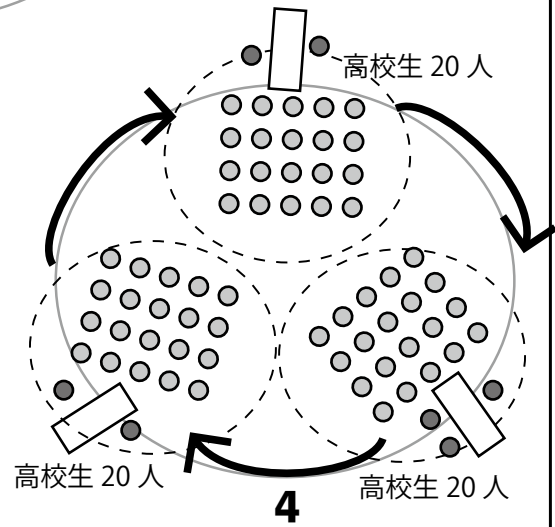
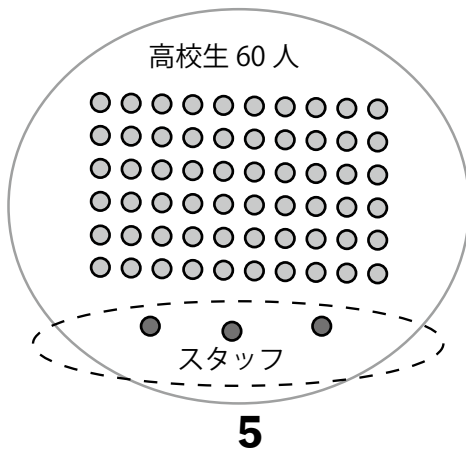
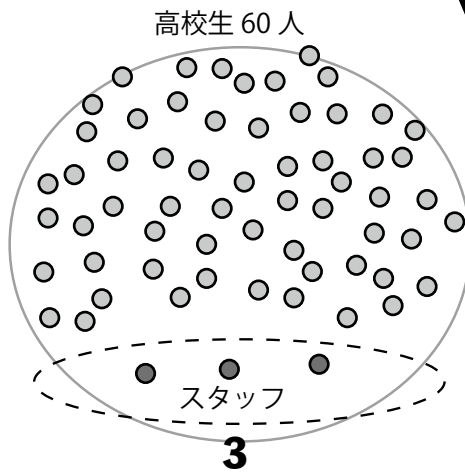
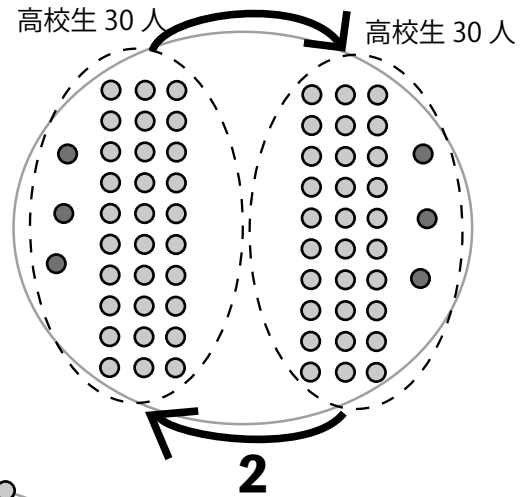
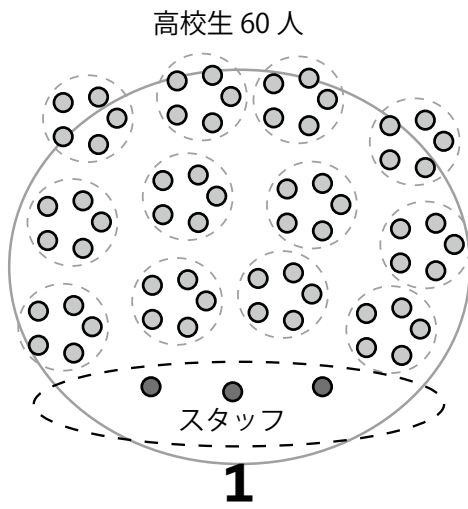
13:35 (35分) **5グループに分かれて運営<その2>**

14:10 (05分) まとめ

14:15 終了

ステージ

○ 全体のお話



1 グループ

●スケジュール

< 1 セッション 35 分× 2 回>

0:00 《02 分》(1) あいさつ

0:02 《06 分》(2) 寸劇

0:08 《02 分》(3) 解説

0:10 《15 分》(4) 意見交換 (グループワーク
| 5 人程度で 1 グループ)

0:25 《08 分》(5) 発表

0:33 《02 分》(6) まとめ

0:35 終了

●目的 「目的は同じ、やり方が違う」を考える

●配役 | 大きな名札を首にかける

< 全体進行 >

< 寸劇進行 >

< パネルを見せる人 >

< 寸劇 1 >

レストラン店長 / レストラン店員 / お客さま

< 寸劇 2 >

コンビニ店長 / コンビニ店員 / お客 A / お客 B

< 寸劇 3 >

駅員 / 乗客 A / 乗客 B

●活動内容

(1) あいさつ

▶全体スケジュール (A2 版)

全体進行 | 3 つのシーンを見ていただきます。

その中でちょっとしたすれ違いや、あれっ？
と思うことがあるので、よく見てください。

見てもらったあと、5 人ぐらいのグループに
分かれて「どうしたらいいのか」議論します。
さまざまな立場の人が登場します。それぞれの
立場で、あなただったらどう思うか、どうした
ら良かったか意見交換をしますので、見ながら
メモもしてください。

(2) 寸劇

▶寸劇 1 レストランでご案内 (A3 版パネル)

進行 | 寸劇 1。レストランで店長と店員がミー
ティングをしています。

店長 | この店はバリアフリーを目指しているの

で、車いすを使っている方が来たら、広い間取
りの出入りがしやすい席に案内してください。

店員 | はいわかりました。

進行 | 予約で来たお客さんが車いすを使ってい
る方でした。

店員 | いらっしゃいませ。

車いすのお客 | こんにちは、予約を入れている
K ですけども。

店員 | 車いすの方でしたら当店にはバリアフ
リーの席があるので、そちらをご案内させてい
たします。

車いすのお客 | バリアフリーの席は窓のない部
屋ですか。いや、今日は花火の日ですよ。そ
れ知っていたから、花火が見やすい窓際の席を
予約しているのですが。

店員 | そちらは少し狭くて段差などもあります。
広めで入りやすい席にご案内いたします。

車いすのお客 | いや、私は少々動きにくくても、
イスに移り移って観ますので、こっちに座らせ
てくださいよ。予約したんだし。

店員 | ...

進行 | みなさんはどう思いましたか？

▶寸劇 2 スーパーのセルフレジで (A3 版パネル)

進行 | 寸劇 2。スーパーで店長と店員がミーティ
ングをしています。

店長 | 困っている方がいたら助けてあげてくだ
さい。

店員 | はい、わかりました。

お客 A | セルフレジ、いつもわかんないのよ。

店員 | お手伝いしますね (代わりにセルフレジを
操作する)。現金でよろしいですか？

お客 A | はい、お願いします。どうもありがと
うございました。

進行 | 対応がうまくいったようですね。

お客 B | 私もセルフレジを使おう。エコバッグ
を使おう (バッグをとりだす)。

店員 | お手伝いしますね (と勝手にセルフレジの
操作をし始める)。

お客 B | ちょっと待ってください。お手伝いし
てくださいとお願いしていないんですけど。

店員 | 困ってそうだったので、...。

お客 B | 私は自分でやれるし、別にお手伝い
いらないんですけど。

店員 | あっ、そうですか、失礼いたしました。

進行 | みなさんはどう思いましたか？

▶ 寸劇3 電車のホームで (A3 版パネル)

進行 | 寸劇3。駅のホームで車いすの人が電車に乗ろうとしています。

駅員 | すいません。車いすの方は、ここでお待ちいただきます。

乗客 A | ピンクに塗ったところ (「おもいやりゾーン」と書かれた写真で見せる) ですか？

駅員 | そうです。

乗客 A | 何でここで待つのですか。

駅員 | ここは幅が広く安全で乗りやすい場所ですので、ここでお待ちください。

乗客 A | 私は介助がなくても一人で乗れるし、この場所でないところで乗りたいのですが。

駅員 | 降りる時の場所の連絡もしやすいので、ここで待っていただければと。。

乗客 A | 降りる時の連絡はいりません。一人で降りますから。こっちの乗りたいところで乗りますね (で乗りました。)

乗客 B | ちょっとすみません。

乗客 A | はい。

乗客 B | 先程駅員がピンクに塗られた場所で乗るように言っていたのに、なぜこちらから乗ったんですか？

乗客 A | 皆さんは駅員から「どこで乗れ」と言われませんか。車いすを使っている人だけが「ここから乗れ」と言われるのですか。私も都合により乗り降りしたい場所があります。

乗客 B | ピンクに塗られた場所の方が降りる時も連絡しやすくいいと思いますが、、、

乗客 A | 向こうの都合でそういうことがあるのなら、なんで改札のところで言ってくれなかったんですか。改札で打ち合わせをすれば、こんなことにならないと思います。

進行 | みなさんはどう思いますか？

(3) 解説

▶ 寸劇1 | レストランで (車いす使用者を案内する店員)

・店長はバリアフリーの店にしようと一生懸命考えたが、予約のお客さんとはズレがあった。

1) あなたが店員の立場だったらどうする？

2) 車いす使用者のお客様の立場だったら、どうして欲しいか？

3) 店長は店員に、どのような話をしていたら

よかったか？

▶ 寸劇2 | スーパーのセルフレジで (お客様を手伝う店員)

・店長から「困っている人がいたら助けてあげてください」と言われていたが、2人目のお客様からは「手伝ってくださいと頼んでいない」と言われた。

1) お客様によって違う対応を、どのように考えればいいか？

2) 店長とのミーティングでは、どのような打ち合わせをしておけばよかったか？

▶ 寸劇3 | 電車のホームで (車いす使用者と駅員のやりとりを見ていた高校生)

・駅員が「ここで待ってください、と示す場所」と車いす使用者の「乗りたい場所」が違った。

1) 車いす使用者が「乗り降りしたい場所がある」と言ったことを、どのように思うか？

(4) 意見交換 (グループワーク | 5人程度で1グループ)

全体進行 | ポイントをここに書き出しています。これを参考にこれから15分間5人で話し合ってみてください。その後各グループから発表していただきます。では始めます。

(5) 発表

(6) まとめ

2 グループ

●スケジュール

<1セッション 35分×2回>

0:00 《05分》(1) あいさつ

0:05 《15分》(2) ロールプレイ

・ワークショップメンバーによる寸劇 (見本)

・高校生との意見交換

・ロールプレイ

0:20 《15分》(3) エピソードトーク

※ロールプレイとエピソードトークを2グループで同時に実施、時間がきたら交代

0:35 終了

●目的

- ・身近に困っている人や場面がいろいろあることに気づく。
- ・アクションを起こせたらそれで O.K. ←うまく伝えられなくても大丈夫。

●配役 | 大きな名札を首にかけろ

<全体進行>

<パネルを持つ人>

<寸劇 1>

進行役 / 乗客 A (車いす使用者) / 乗客 B / 乗客 C

→ロールプレイは乗客 B 役

<寸劇 2>

進行役 / 乗客 A (車いす使用者) / 乗客 D

→ロールプレイは乗客 D 役

<エピソードトーク>

進行役 / ワークショップメンバー A / ワークショップメンバー B

●活動内容

(1) あいさつ

▶全体スケジュール (A2 版)

全体進行 | 身近な場面で、どんなコミュニケーションをしたらいいかを考えてもらいます。

まずは私達の寸劇を見て、次に皆さんのなかから代表の方にロールプレイをしてもらいます。

今日やってみて、こんなこともあるんだと知ってもらえれば、大丈夫です。では、2つのグループに分かれましょう。

(2) ロールプレイ 1 / まずはやってみよう。うまくできなくても O.K.

▶寸劇 1 ある日の電車ホームで (A3 版パネル)

(乗客 B と乗客 A (車いす使用者) が並んでいる)
進行役 | 満員電車で人が乗ろうとしています。

乗客 A (車いす使用者) | 段差があるので、後ろから押してもらっていいですか？

乗客 B | はい、わかりました。

進行役 | 電車が到着しました。

(プラカードで「電車の中」と示す)

乗客 B | (これで大丈夫ですか？など声かけ)

乗客 A (車いす使用者) | (大丈夫ですなど)

乗客 A (車いす使用者) | 降りる駅になったら、車いすを回転させたいので、周りの人に声をかけてもらっていいですか？

乗客 B | 車いすが回転するので、スペースを開けてください。

乗客 C | (車いすの方をふりかえり、スペースを開けるように移動)

乗客 A (車いす使用者) | (下りるように移動)

進行役 | 無事下りることができたようです。こうした経験をしたことがありますか？

では今度は皆さんのうち誰かにやってもらいましょう。

●やってみよう！乗客 B 役を高校生が演じる

進行役 | 終わったら拍手。では今度は違うパターンをやってみましょう。

▶寸劇 2 別の日の電車ホームで (A3 版パネル)

(乗客 D と乗客 A (車いす使用者) が並んでいる)

進行役 | 満員電車で人が乗ろうとしています。

乗客 D | お手伝いしましょうか？

乗客 A (車いす使用者) | この駅は乗り慣れているので、特にお手伝いはいりません。(次に会ったら声をかけてください等の言葉はない)

乗客 D | あっそうですか、では、失礼します。

●意見交換

進行役 | 2 つめの場面では声をかけましたが、結構ですと言われました。同じような経験をしたことがありますか？

車いす使用者 | もしいれば、正直どんな風に感じましたか？ショックを受けた？僕たちは、必要なときにサポートしてくれれば大丈夫。またうまくできなくても O.K.。できなければ、別の人にお願いするから、気にしないで。

●やってみよう！乗客 B,D を高校生が演じる

アクションが起こせればそれで OK、うまく伝えられなくてもまずはやってみよう。

(3) エピソードトークパート

▶エピソード 1 伝えるのは難しい(A3 版パネル)

進行役 | 今回のワークショップではさまざまな場面での困りごとやその対応の仕方、対応がうまくいかなかったときの心の持ちようなど、多くの意見交換ができました。

ワークショップメンバー A | (子どもが高校に入学したが、ろう学校へ移ったエピソード)

進行役 | この話を寸劇として伝えられないかとやってみましたが、なかなかうまくいきませんでした。どのあたりに難しさを感じましたか？

ワークショップメンバー A | 私の体験ではないので、誤解して受けとめられる心配がありました。今回の事で子どもの障害について理解できていないことがあることにも気づきました。ワークショップで伝えたことは貴重な経験になりました。これからも伝える努力を続けたい。

進行役 | 感想。今回のことをつうじて、高校生に伝えたいことはありますか？

ワークショップメンバー A | 我が子の場合、中学校は難聴学級で支援を、大学でもノートテイク、手話通訳の支援を受けました。高校はほとんど支援がありませんでした。聞こえない、聞こえにくい学生への理解が進むために、学校の中にも聴覚に障害のある学生がいるかもしれない事を知ってほしいです。

進行役 | 感想。今回、プログラムを考える過程で考え方の多様性や伝えることの難しさを体験することになりました。

▶エピソード 2 わかりづらい困難さ(A3 版パネル)

進行役 | 次に、脳卒中当事者のお話です。

ワークショップメンバー B | 脳卒中当事者です。

私は 2016 年に脳卒中に罹患し左半身麻痺と、音や光、温度に対する感覚過敏の症状などが残りました。そのため、まちなかでさほど大きくはない音に反応してしまったり、光がとても強く感じてしまうことがあります。

進行役 | まちなかでの困りごとについて改めて

お伺いします。

ワークショップメンバー B | スーパーでの買い物で目当ての商品がうまく見つけれず、声をかけた店員が場所の説明をしてくれたのですが、商品の近くまで案内してほしいことがうまく伝えられなかったことがありました。

進行役 | 感想。もし私が店員だったら、どのように対応すれば良いのでしょうか？

ワークショップメンバー B | 私の場合、失語の症状はないので言葉が出てこないことはないのですが、店員から「商品のある場所までご案内しましょうか？」と言ってもらえたら助かります。脳卒中による後遺症は人それぞれ違い、困りごとが多岐にわたります。一人ひとり違うのでどのように解決すればよいか答えにたどり着くことが難しい場面もあるかもしれません。もし皆さんがサポートする側になったときには、できる限りで良いのでコミュニケーションをとりながら一緒に解決できたらと思います。

進行役 | ありがとうございます。感想

(4) まとめ

全体進行 | 皆さん、どう感じられたでしょうか？学校や日常生活の場でも、行動してもらえたらうれしいです。

3グループ

●スケジュール

<1セッション 35分×2回>

0:00《02分》(1) あいさつ (全体)

0:02《05分》(2) 寸劇

0:07《03分》(3) 解説

0:10《20分》(4) 体験 | 仲間探しゲーム／コミュニケーション体験

0:30《05分》(5) お話

0:35 終了

●目的

- ・耳が聞こえないことやコミュニケーションについて学ぶ。

●配役 | 大きな名札を首に付ける

<全体進行>

<寸劇1・2>

進行役／バイトの高校生／高校生の心の声役／
お客A／お客B

<体験1>

体験1の進行役

<体験2>

体験2の進行役

●活動内容

(1) あいさつ

▶全体スケジュール (A2版)

全体進行：このグループでは、耳が聞こえないことやコミュニケーションについて学んでもらいます。まず、劇を見てもらい、次に2つの体験をしてもらいます。では、早速始めましょう。

ここはファミリーレストランです。みなさんと同じ高校生がバイトをしています。

(2) 寸劇

▶寸劇1 | ファミリーレストランでお客さまA (A3版のパネル)

小道具 | テーブル、イス

心の声 | 今日もバイト頑張るぞ！お客さんだ。

お客A | (お店に入り座る)

バイトの高校生 | いらっしゃいませ (メニューを渡す)。

お客A (だまって受け取り、メニューを見る)

バイトの高校生 | ご注文はお決まりですか。

お客 | (メニューを見たまま反応がない)

バイトの高校生 | (どうしたらいいか困っている)

心の声 | (反応がないな、もう一度聞いてみよう)

バイトの高校生 | ご注文はお決まりですか。(声を少し大きく)

心の声 | (やっぱり反応がない。。。どうしてだろう、、、もしかしたら、、、耳の聞こえない人かもしれない。授業で手話を習ったな～。よしやってみよう！)。

バイトの高校生 | (お客さまがメニューを見ている先のテーブルを軽く叩く。お客さまがバイトの方を向いたら、手話で「こんにちは」をしながら) こんにちは (と声に出して言う)。

お客A | (手話で)「こんにちは」。

バイトの高校生 | (笑顔で応える)

お客A | (あ～手話ができる人なんだといった表情で) (手話で「アイスコーヒーにはガムシロップが入っていますか？」等どんどん聞く)

バイトの高校生 | (慌てる)

心の声 | (わ～、挨拶しかわからない、どうしよう)

お客A | (手話であいさつしてくれたけど、注文内容は伝わっていないとわかる) (身振り・指差し・ジェスチャーで注文)

バイトの高校生 | え～と、アイスコーヒーですね (メニューを指差す)

お客A | (ジェスチャーでYESと伝える)

バイトの高校生・お客A | (意思疎通ができお互い笑顔になる) (手話で) ありがとう！

心の声 | 何とか注文が取れて良かった～。手話は挨拶ぐらいしかできなかったけど、伝わるって楽しい。もっと手話を勉強してみたいな。

▶寸劇2 | ファミリーレストランでお客さまB (A3版のパネル)

心の声 | あっ！次のお客さんが来た！

お客B | (お店に入り席に座る)

バイトの高校生 | いらっしゃいませ (メニューを渡す)。

お客B | (だまって受け取り、メニューを見る)

バイトの高校生 | ご注文はお決まりですか。

お客B | (メニューを見たまま反応がない)

バイトの高校生 | (どうしたらいいか困っている)

心の声 | (反応がないな、もう一度聞いてみよう)

バイトの高校生 | ご注文はお決まりですか。(声を少し大きく)

心の声 | (やっぱり反応がない。また、耳の聞こえ

ない人かもしれない。手話で挨拶してみよう！)

バイトの高校生 | (お客さまがメニューを見ている先のテーブルを軽く叩く。お客さまがバイトの方を向いたら、手話で「こんにちは」をしながら) こんにちは (と声に出して言う)。

お客 B | (手話が分からず困惑している)

心の声 | (手話も通じないみたいだな。もしかしたら外国人かな?)

バイトの高校生 | Are you ready to order?

お客 B | (困惑表情。ペンで描きたいジェスチャー)

心の声 | (ペンが必要なのかな)

バイトの高校生 | (ペンを渡しながら) こちらですか? はい。どうぞ。

お客 B | (ナプキンに「ホットコーヒー」と書いて、店員に渡す)

バイトの高校生 | (ナプキンを受け取り)「ホットコーヒー 1 つですね」

お客 B | うんうん

バイトの高校生 | わかりました (ナプキンを指差し、わかった身振りをする)

バイトの高校生・お客 B | (意思疎通ができお互い笑顔になる)

心の声 | あ〜注文が取れてよかった! 耳が聞こえない人の中には、手話を使わない人もいるんだな。

(3) 解説

- ・手話・指差し・筆談・身振りの文字パネル、URL 入りアプリ紹介パネル
- ・寸劇中にでてきた方法 (手話・指差し・筆談・身振り) の解説、筆談のポイント説明
- ・アプリの紹介 | UD トーク/こえとら/UD 手書き

(4) 体験

▶体験 1 : 仲間探しゲーム

- ・体験の説明
- ・10 種類の動物が書いてあるカードを配ってグループになる。

進行: 2 つの体験をします。耳が聞こえないことやコミュニケーションについて体験します。

1 つ目は「仲間探しゲーム」。動物カードを 10 種類配ります。同じカードを持っている人を探してください。ただし、声を出さない、スマホを使わないでください。10 のグループに分かれたら、最後にカードを見せ合いますので、それまでカードを見せないでください。

(カードの種類は、うさぎ、ぞう、キリン、牛、ゴリラ、サル、ネコ、ライオン、白鳥、カラス) 10 のグループに分かれたらカードを見せ合います。同じカードでしたか?

▶体験 2 : コミュニケーション体験

- ・体験の説明
- ・グループで話し合う
- ・感想を共有
- ・感想を聞く

進行 | 続いてコミュニケーション体験をします。グループの中で一人、耳の聞こえない人の役を決めてください。その役の人には耳栓を配ります。

グループでおしゃべりをしてもらいます。テーマは「放課後みんなで、なにをして遊ぶ?」。話す時間は 5 分です。その後、一言感想を出し合います。では、はじめてください。

進行 | 5 分が経ちました。ここから感想を出しあいます。はじめに耳の聞こえない役をやった人からお願いします。時間は 3 分です。

高校生 | 3 分が経ちました。みなさん、どんな感想が出ましたか? 一言発表をお願いします。(時間が許す中で発表してもらおう。全グループ発表できないかもしれないが、時間優先)

全体進行: みなさんの感想、ありがとうございました。では、最後に聴覚障害者当事者からお話いただきます。

(5) お話し

4グループ

●スケジュール

<1セッション 35分×2回>

0:00《05分》(1) 説明・設定を決める (全体)

0:05《08分》(2) ロールプレイ 1

0:13《03分》移動

0:16《08分》(3) ロールプレイ 2

0:24《03分》移動

0:27《08分》(4) ロールプレイ 3

0:35 終了

●目的

- ・まちにはいろいろな人がいる。
- ・今回は、以下の3つの立場から考える。
視覚障害がある人／聴覚障害がある人／外国人

●配役 | 大きな名札を首にかける

<全体進行>

<ロールプレイ 1>

進行役／視覚障害者／店員 A

<ロールプレイ 2>

進行役／聴覚障害者／店員 B

<ロールプレイ 3>

進行役／外国人／店員 C

●活動内容

(1) 説明・設定を決める

▶スケジュール (A2版)

全体進行 | まちにはいろいろな人がいます。どんな人がいると思いますか？例えば、年齢の違いを考えると、赤ちゃんや、赤ちゃんがお腹の中にいる妊婦さん、小中学生、若者、高齢者がいます。東京オリンピックが開催された時は、外国人の姿もよく見かけました。外国人といっても国籍、宗教などいろいろで、服装や食べるものが違ったりします。車いすやベビーカーを使っている人、目が見えない人、耳が聞こえない人もいます。怪我をして松葉杖を使うといったものなんでもない道が大変になることを経験したこともあるのではないのでしょうか。

(高校生から「いろいろな人」が出たら紙に書く)

今日はこの中から3人の立場のことを考えてもらいたいと思います。

- ・代表者がカードを引き3グループに分かれる。

(2) ロールプレイ 1

- ・店員係に台本カードを渡す。演者以外の高校生には「自分ならどう案内するか？」を考えながら見てもらう。
- ・まずは自分が良いと思う方法で案内する。その後、当事者からアドバイスを受ける。

▶設定 1 | 視覚障害者

- ・あなたはカフェの店員さんです。
- ・お店に白い杖を持ったお客さんが来店。
- ・席に案内して注文を聞いて、食事をテーブルに運んでください。

●ロールプレイ

→入口からテーブルまで案内、席につく

→メニューを説明

→運んだ食事の内容を伝える

▶設定 2 | 聴覚障害者

- ・あなたはファミレスの店員です。
- ・「私は耳が聞こえません」というお客さんが来店。
- ・順番待ちのリストに名前を書いてもらい、順番が来たら席に案内して注文を聞いてください。

●ロールプレイ

→順番待ちリストに名前を書いてもらう。

→順番が来たら、そのことを伝える。

→オーダーを聞き、オーダーを確認する。

▶設定 3 | 外国人

- ・あなたは韓国人の友人と韓国料理屋に行きます。

●ロールプレイ

- ・韓国人と同じ方法で料理を食べ、普段の自分の食べ方と違いがあるかに気づいてもらい、どちらが一方が正しいわけではないことを伝える。
- お箸が鉄製で、タテに置く。
- 食器を持たない。まぜる。

5 グループ

●スケジュール

< 1 セッション 35 分×2 回>

0:00 《01 分》(1) あいさつ

0:01 《05 分》(2) 寸劇

0:06 《02 分》(3) 解説

0:08 《25 分》(4) ロールプレイ

0:33 《02 分》(5) まとめ

0:35 終了

●目的

- ・寸劇で悪いバージョンと良いバージョンを見せ、ロールプレイで演じて理解を深める。

●配役 | 大きな名札を首にかける

< 全体進行 >

< 寸劇 1 > 進行役 / お客 A / 店員

< 寸劇 2 > 進行役 / お客 B / 店員

< ロールプレイ > 進行役

●活動内容

(1) あいさつ

スケジュール (A2 版)

全体進行 | 寸劇のあとロールプレイをします。

(2) 寸劇

▶寸劇 1- 1 コンビニで弱視の方が買い物 1

(悪い Ver) (A3 版パネル)

進行役 | コンビニで買物をしている人がいます。

お客 A | あ～これこれ、魚のイラストの鯖缶、
美味しいんだ～。 (魚の絵の缶詰を手取る)

店員 | いらっしゃいませ。

お客 A | これお願いします。

店員 | 298 円です。

お客 A | はい、お支払い。(と買った後によく
見ると) あれっ、キャットフードじゃないか！

▶寸劇 1- 2 コンビニで弱視の方が買い物 2

(良い Ver) (A3 版パネル)

司会 | 先日、鯖缶と間違えてキャットフードを
買ってしまった方が、また買物に来ました。

お客 A | 似たような魚のイラストが書いてある
から、先日は間違えてキャットフードを買っ
てしまったな。今度は間違えないようにと。

店員 | いらっしゃいませ。

お客 A | これお願いします。

店員 | 298 円です。

お客 A | (値段がわかって、またまちがえ
ると困るな)。これ鯖缶ですか？

店員 | いいえ、キャットフードです。

お客 A | (また間違えた!) 鯖缶ありますか。

店員 | お待ちください。はい、鯖缶です。

お客 A | これください。はい、お支払い。

▶寸劇 2- 1 コンビニでの車いす使用者の金銭授受編 1 (悪い Ver) (A3 版パネル)

司会 | コンビニで買物をしている人がいます。

店員 | いらっしゃいませ。

お客 B | これください。

店員 | はい、450 円です。

お客 B | 車いすの後ろにかかっているカバンの中
に財布があります。とってもらえますか。

店員 | (どのチャックかな？ここを開けていい
かな？お財布お財布、どこにあるのかな？) (後
ろのカバンの中身を漁りながら財布を探す)。

お客 B | (ちょっと心配そう)

店員 | (あった、これだ。) これでしょうか。

お客 B | そこからとってください。

店員 | はい 450 円とりますね。商品をどうぞ。

▶寸劇 2-2 コンビニでの車いす使用者の金銭授受編 2 (良い Ver) (A3 版パネル)

司会 | 先日と同じ人がコンビニで買物をしています。

店員 | いらっしゃいませ。

お客 B | これください。

店員 | はい、450 円です。

お客 B | 車いすの後ろにあるカバンに財布があ
ります。カバンを前に持ってきてください。

店員 | (カバンを正面に持ってきて) どこを開
けましょうか？ああここですね。はい、黒色
のお財布ですね、これを取り出しますね。